

令和6年度
第2回

一般社団法人京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
専門医から学ぶ 京都在宅医療塾 探究編

認知症の人への 緩和ケアアプローチ ～苦痛評価からACPまで～ (参集型グループワーク)

令和6年
11月9日 土
午後2時～4時

第2回 講師

平原 佐斗司 先生



東京ふれあい医療生活協同組合
研修・研究センター長

同オレンジほっとクリニック
東京都地域連携型認知症疾患医療センター
センター長

ところ

京都府医師会館
3階 310会議室

対象

医師・看護師

定員

60名

受講料

無料

申込み

詳細は裏面をご確認ください。

申込み締め切り日

定員に達し次第締め切り

◆日医生涯教育カリキュラムコード

29.認知能の障害(2.0単位)

※「地域包括診療加算」および「地域包括診療料」の施設基準における「慢性疾患の指導に係る適切な研修」の一部、「29. 認知能の障害」に該当します。

《資格》

総合内科専門医、在宅医療専門医・指導医、
プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、
気管支鏡専門医、アレルギー専門医

《役職》

日本在宅医療連合学会(副代表理事)、
日本エンドオブライフケア学会(副理事長)、
日本認知症の人の緩和ケア学会(理事長)、
日本老年医学会(代議員)、
日本カヘキシア・サルコペニア学会(評議員)、
東京医科歯科大学臨床教授、聖路加看護大学臨床教授

編 著

「チャレンジ 在宅がん緩和ケア」(南山堂)、「チャレンジ 非がん疾患の緩和ケア」(南山堂)、「心不全の緩和ケア」(初版、第2版)、明日の在宅医療全7巻 3巻4巻6巻編集幹事(中央法規)、「非がん性呼吸器疾患の緩和ケア」(南山堂)、「認知症の緩和ケア」(南山堂)、「医療と看護の質を向上する認知症ステージアプローチ入門(中央法規)」、「認知症の人に寄り添う在宅医療」(クリエイツかもがわ)、「在宅医療のすべて」(中山書店)、「在宅医療テキスト」(勇美記念財団)(第1版、2版、3版 編集責任者)、緩和ケアと看取りの訪問看護(中央法規)、エンド オブ ライフ ケア～すべての人の命とくらしのために～(日本エンドオブライフケア学会監修・南山堂)、認知症 plus 緩和ケア(看護協会出版会)、医師・看護師のための認知症プライマリケアまるごとガイド ～最新知識に基づくステージアプローチ～(中央法規)、エンドオブライフケア学(日本看護協会出版会)、腎不全の緩和ケア(南山堂)

FAXでのお申し込みはできません

令和6年度 第2回京都在宅医療塾 探究編

必 読

参加の方へ

開催日の1週間前を目安に受講決定通知をメール・ハガキでお送りします。

2024年11月1日(金)送付予定

申込多数の場合は参加をお断りする可能性があります。

令和6年度

第2回 京都在宅医療塾 探究編 お申込みフォーム



左記のQRコードをお手持ちのスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、申込フォームのページが表示されます。

または、検索エンジンにて「京都 在宅医療」で検索し、当センターホームページからもお申し込みできます。

京都 在宅医療

検索



<https://kyoto-zaitaku-med.or.jp/>

